2025年7月14日

各　位

会 社 名 株 式 会 社 ＭＵＳＣＡＴ　ＧＲＯＵＰ
代表者名 代 表 取 締 役　　大 久 保　　遼
（コード：195A、東証グロース市場）
問合せ先 取締役経営管理本部長　森岡　祐平
（TEL. 03－6684－2373）

株式会社MUSCAT GROUPの連結子会社WinCが「TikTok Shop」に参入、ランキング１位*を獲得
～自社ブランドを皮切りにグループでの企業向けサービスも提供予定～

当社の連結子会社で、「WinK TO COMMUNITY」をミッションに、心躍るプロダクト・サービスを創出する株式会社WinCが、展開するオーラル美容ブランド「MiiS」において、ByteDance社が提供する新サービス「TikTok Shop」へ参入したことをお知らせいたします。

＊TikTokの大人気商品「美容・パーソナルケア／鼻・口腔ケア」カテゴリにおけるランキング（2025年6月30日から7月11日、TikTokShopセラーセンターより）にて、MiiS「ホワイティクリーム」が第1位、MiiS「エムエムフローラ」が第３位を獲得

1.　TikTok Shop参入の背景と目的

Z世代を中心に急拡大する動画プラットフォーム「TikTok」の新サービスとして登場した「TikTok Shop」は、アプリ内で商品の購入が完結する新たな購買体験を提供しており、その市場は急速に成長しています。

WinCのTikTok Shop参入は、TikTokの持つ拡散力と購買促進力を最大限に活用したMiiSブランドのさらなる認知度向上と顧客層の拡大を目的としています。当社では、SNS上でのユーザー接点やインフルエンサー起点の購買行動に着目しており、TikTok Shopを新たな販路と位置づけ、戦略設計および運用を担う専任プロジェクトチームを社内に新設することで、動画を起点とした自然な商品認知・体験の創出や若年層との新規接点獲得とブランドエンゲージメントの深化を強化してまいります。

2.　TikTok Shop における MiiS の販売実績

参入に際してテストプロモーションを行った結果、TikTok の大人気商品「美容・パーソナルケア／鼻・口腔ケア」カテゴリにおけるランキング（2025 年 6 月 30 日から 7 月 11 日、TikTokShop セラーセンターより）で、MiiS「ホワイティクリーム」が第 1 位、MiiS「mm flora＊（エムエムフローラ)」が第 3 位を獲得いたしました。

この結果を受けて、高い市場ニーズと媒体におけるブランドの親和性を実感するとともに、今後さらに多くのお客様に製品を届け、オーラル美容市場における新たな価値創造に貢献してまいりたいと考えております。

3.　今後の展望

当社グループは、「MiiS」に続いて、SNS 上で人気上昇中の電動アシスト自転車ブランド「MOVE. e-Bike」や、平成レトロブームで話題の「ロコネイル」についても、近日中に TikTok Shop への参入を予定しており、各ブランドのターゲットにあわせた最適なアプローチで事業拡大を目指してまいります。当社ブランドと TikTok は高い親和性があり、MiiS においては「mm flora＊（エムエムフローラ)」の関連動画がこれまで 800 万回以上 TikTok 上で再生されており、ロコネイルにおいては「ROCO NAILS スクールバッグ」の関連動画がこれまで 470 万回以上 TikTok 上で再生されております。

また、今後、ブランドの TikTok Shop 参入で得たデータと、マーケティングノウハウをもとに、延べ 3,500 社以上の SNS マーケティング支援実績を有する子会社の株式会社ライスカレープラスでは、企業向けの TikTok Shop 関連サービスの提供を予定しております。ライスカレープラスでは、いち早く TikTok 領域に着目し、アカウント運用・インフルエンサー連携・広告・自社メディア展開までを包括的に実施する支援体制を確立してきました。すでに、数千人規模の TikToker コミュニティを独自に構築し、PR 施策にとどまらず、大手企業アカウントにおいても数百万再生を超える成果を多数創出し続けております。

今後は、急成長が期待される TikTok Shop 領域において、グループ会社の WinC 社のみならず、多様な企業との業務提携を視野に、TikTok を起点にブランドの飛躍的な成長を実現すべく本格的に取り組んでまいります。

当社グループは、今後もこうした成長市場への早期参入により、自社ブランド・サービスにおける販路の最適化、マーケティング戦略の強化を行い、「ブランド共創時代」をリードする持株会社としてグループ全社で新たな価値を創造してまいります。

4.　業績への影響

本件が連結業績に与える影響は軽微であると考えております。